

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

<7月>

施設名	さっちゃんルーム
施設所在地	多摩市桜ヶ丘3-32-1

1. 活動のテーマ <野菜って何?>

おいしいもの どんな味 どこにあるの どうやって作るの 食べられるの どこで作るの
どこで買うの どうやって食べるの。。。
など、子どもたちの不思議に答えるテーマとする（絵本、カードなどを活用する）

<子どもたち毎日食べてる野菜について>

‘スーパーで見る規格野菜’‘調理済’ではない本当の姿を見せ興味、関心を持たせる
近隣に3箇所の利用出来る菜園があり
‘市民農園40平方メートル’‘園庭2平方メートル’‘シェア畑5平方メートル’ 用途に応じて使い分ける

2. 活動スケジュール

年間を通して（トマト、キュウリ、なす、スイカ、かぼちゃ、とうもろこし、ゴーヤ、枝豆、そら豆、さつまいも、ジャガイモ、イチゴ、ブロッコリー、キャベツ、ほうれん草、大根）など15種類以上の野菜を春夏秋冬季節の移り変わりを感じさせながら子ども達と種まき、苗の植栽から栽培、収穫、調理、食育を
実践し子ども達の五感（視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚）を育み、子ども一人一人の自然な記憶（思い出）として残す計画です

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

畑を耕し（1ヶ月前）野菜別に肥料、堆肥、石灰などを加えPH調整しうねを立てマルチ、支柱をセットし種、苗を事前に準備する

【必要な道具】

スコップ、くわ、じょうろ、バケツ、ハサミ、紐、マルチ、カマ、レーキー、コテ、PH、手袋、長靴、バンド、ネット、テープ、メジャー、堆肥、肥料、石灰、虫よけなどその他

4. 探究活動の実践

<活動の内容> きゅうりの収穫、調理、食育

- ・畑で大中小様々な形状のきゅうりを子ども達と一緒に収穫。そのイボの感触と匂いを嗅がせた。
- ・サイズ形状の違うきゅうりを並べ比較した。
- ・きゅうりはサラダ、一夜漬けに調理し給食として活用した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・トトロの動画を見せメイちゃんの丸かじりも体験させた。
- ・子ども達は大きなきゅうり、イボなどに興味を示した。
- ・採れたてのきゅうりは感触と香りが違うので良かった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・子ども達にきゅうりの花のうしろから赤ちゃんきゅうりが成長する様子を見せる事が出来てよかった。
- ・きゅうりは成長が早く、7月から8月は2～3日おきに5本～10本収穫、100本以上になり食べきれないので、近隣住民、保護者に配布する。
- ・7月～8月にかけてトマト、ナス、ゴーヤを収穫する。ゴーヤは9月迄収穫100本以上採れたので保護者に配布する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容> とうもろこしの収穫、調理、食育

畑に行き成長したとうもろこしのヒゲが茶色になったのを取りよと説明。一人一人収穫をし持ち帰り、子ども達に皮をむかせ、ヒゲを取らせ、調理しおやつとして輪切りにして丸かじりする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

子ども達はとうもろこしの皮をむいている姿はとても真剣で何枚もの皮をむく。その集中力にはびっくりした。その匂いを嗅がせたり、ヒゲの感触を体験させ五感を育む。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・日常とうもろこしを丸かじりすることはないので良かった
- ・ヒゲ一本は実一個をつながっていると説明する
- ・とうもろこしの収穫は大人の力が必要な為、保育士が取る
- ・子ども達は食欲旺盛でした